やまがた 元氣 **農の風** NO.43

山形県金山町

加藤　優志（まさし）　さん

黒毛和牛を繁殖から肥育まで一貫経営

牛に愛情を注ぎ大切に育てている若手畜産農家

就農のきっかけ・こだわり・思いをお聞かせください。

祖父の代から黒毛和牛の繋殖・肥育の一貫経営を行っていたこともあり、平成25年に山形県立農業大学校畜産経営学科を卒業後すぐに就農をしました。

就農した当初は、良い牛を育てたいとの思いから様々な肥育方法を試みましたが、現在は、先人たちが行ってきた、「１頭１頭の個体をしっかりと管理する飼養方法」がベストな肥育であることに行きつきました。

また、繁殖牛については飼料設計等を見直し年１産(367日)としています。

牧草は自家生産したものを給餌しています。

加藤 優志 さん

加藤さんが手塩にかけて育てた「丸藤３」号は、昨年９月に、県産種雄牛としてデビューしました。

歴代県産種雄牛の中でも産子の枝肉成績は、６項目中３項目が歴代１位とトップクラスの成績です。

「丸藤３」号

写真提供:山形県農林水産部畜産振興課

畜産業の魅力についてお聞かせください。

共励会などで賞をもらうことにこだわりや興味はありません。自分が育てた牛を食べて美味しいと思っていただけることが、経営の励みになっています。

昨年の金山町産業まつりで、自分が肥育し提供した牛肉を食べた皆さんから、「おいしい。」という声を聴くことができたときは大変うれしかったです。

金山町産業まつり
写真提供：金山町

やりがいに繋がりました。

ブラッシングの様子

今後の経営、目標や夢、将来展望をお聞かせください。

就農してから10年たちますが、牛の評価は年々変わっています。その時々の評価に合わせた牛を育てていくことが、畜産農家の使命であると考えています。

母牛と生後１週間の子牛

また、地域に人がいない状況で、自分ひとりだけでは、経営発展は難しいと考えています。新規就農者が数年で離農している実情を目にしており、希望を持って就農してくる若者の定着サポートができればと思っています。

東北農政局 山形県拠点 地方参事官室
TEL:023-622-7231